

お詫びと訂正

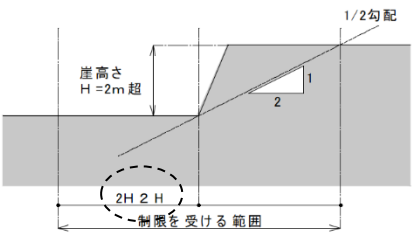
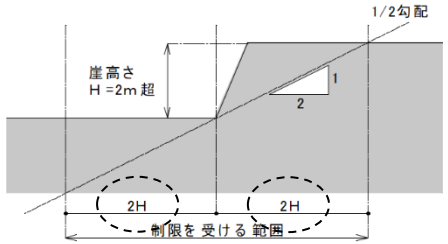
この度は、『リフォームスタイリスト資格試験 1 級・2 級公式テキスト 住宅リフォーム実務知識 第 2 版』をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本文の内容に下記の誤りがありました。お詫びして、訂正致します。

【正誤表】『リフォームスタイリスト資格試験 1 級・2 級公式テキスト 住宅リフォーム実務知識 第 2 版』

(2024 年 4 月 10 日発行)

頁	該当箇所	誤	正
12	1 行目	図 <u>2</u>	図 <u>1-2</u>
20	「(5) 環境管理」 1 行目	リフォーム工事にあたっては、騒音・振動・ <u>塗料</u> ・塵埃・臭気など	リフォーム工事にあたっては、騒音・振動・塵埃・臭気など
54	1 行目	(一応倒壊しない)	(倒壊する可能性がある)
55	図 1-5 図のタイトル	東 <u>だ</u> 立て床	東立て床
70	③CLT の () 内	直交集成材	直交集成板
75	表の最下段 種類名	<u>ボ</u> ールダウン金物	<u>ホ</u> ールダウン金物
126	図 3-30 図の右側	基準一 <u>字</u> エネルギー消費量	基準一 <u>次</u> エネルギー消費量
128	表 3-32 右下の欄「ZEH 住宅の一次エネルギー消費量等級」について	等級 <u>5 以上</u> (BEI 値 <u>0.9 以下</u>)	等級 <u>6 以上</u> (BEI 値 <u>0.8 以下</u>)
129	「(4) 断熱改修に関して」文章全体	「 <u>熱損失</u> 」の表記箇所全て	<u>熱移動</u>
129	表 3-35 タイトルと参照元の表記	<u>表 3-35 住宅の部位別熱損失</u> 資源エネルギー庁の算定データをもとに作成	<u>図 3-35 住宅の部位別熱移動の割合</u> (一社) 日本建材・住宅設備産業協会の算定データをもとに作成
129	同上の円グラフのタイトル	夏季の <u>熱損失</u> 冬季の <u>熱損失</u>	夏季の <u>熱移動 (熱の流入) の割合</u> 冬季の <u>熱移動 (熱の流出) の割合</u>
132	7 行目	アタッチメントを <u>使って</u>	アタッチメントを <u>使わないで</u>
151	「①高断熱ユニットバスへの交換」 1 行目	家庭内の事故 <u>全体</u> の 40.4%	家庭内の事故 (<u>65 歳以上</u>) の約 4 割
176	「(1) 基礎の中 性化への対応」 7 行目	中性化の速度は 1 年間で <u>5mm 程度</u>	中性化の速度は 1 年間で <u>0.5mm 程度</u>
219	下段の注釈 1 行目	大規模とは、主要構造部の過半 (1/2 <u>以上</u>) について行う工事	大規模とは、主要構造部の過半 (1/2 <u>超</u>) について行う工事
222	2 行目	増築部分と既存部分が <u>別</u> の換気が一体化しない場合	増築部分と既存部分の換気が一体化しない場合

224	「(3) 内装制限」 2行目	令 128 条第 4 項	令 128 条の 4 第 4 項
228	図 1-13	 <p>寸法表記「2H 2H」</p>	 <p>寸法表記「2H」を左右に分けて配置</p>
237	「(2) 住宅性能表示制度に関して」 3行目	「 <u>建築</u> 住宅性能評価書」	「 <u>建設</u> 住宅性能評価書」
243	「5-1 断熱等性能等級」の表の下 1行目	<u>2023</u> 年4月に等級5が、	<u>2022</u> 年4月に等級5が、
249	表 2-17 右下の欄「ZEH 住宅の一次エネルギー消費量等級」について	等級 <u>5以上</u> (BEI 値 <u>0.9以下</u>)	等級 <u>6以上</u> (BEI 値 <u>0.8以下</u>)
256	③の3行目	マニフェストにより、最終処分まで確認する。委託契約書及びマニフェストは5年間の保存が義務付けられている	マニフェストにより、最終処分まで確認する。委託契約書及びマニフェストは5年間の保存が義務付けられている

2024年5月1日現在

弊社書籍の正誤表は、下記ホームページ上でもご確認いただけます。

<http://www.lic-book.jp/info>

㈱ハウジングエージェンシー出版事業部